

平成24年山武市教育委員会第10回定例会会議録

1. 期 日 平成24年10月18日(木)
2. 場 所 山武市教育委員会庁舎会議室
3. 開 会 午後1時25分
4. 出席委員 委員長 五木田 孝義
委員長職務代理者 高橋 尚子
委 員 京相 光徳
委 員 小野崎 一男
委 員 嘉瀬 尚男
教育長 金田 重興
5. 欠席委員 なし
6. 議場に出席した職員の職及び氏名
教育部長 加瀬 芳美
教育総務課長 渡邊 聡
学校教育課長 宮川 欣也
学校教育課指導室長 鵜澤 政仁
生涯学習課長 篠崎 君子
スポーツ振興課長 川島 勝喜

事務局
教育総務課総務企画係長 秋葉 一徳
教育総務課総務企画係 篠原 正洋

開会 委員長が挨拶し午後1時25分開会を宣する。

日程第1 ○会議録署名人の指名

五木田委員長が議長となり、高橋委員を指名する。

日程第2 ○会議録の承認

第9回定例教育委員会の会議録を全員異議なく承認。

日程第3 ○教育長報告

報告書に基づき、9月25日から10月27日までの主な業務内容について報告。(主な点は次のとおり)

9月25日 郡社教理事会が行われた。

26日 松尾中学校指導室訪問に同行した。本日も山武中を訪問したが、同じ中学校として松尾中は確実に改善、向上が図られているが、まだまだであって校長以下教職員の一層の努力が求められるというのが感想である。

同日、行政組合教育委員会が行われ、上半期の報告と平成23年度の事務点検の評価について報告があった。教育相談について大きな成果が見られると思う。

27日 定例市議会が閉会し全議案が承認された。午後から議会全員協議会が行われ、執行部から後期五ヵ年の総合計画について説明があった。総合計画の中で教育部では、「学校教育の充実」と「学校家庭地域の連携」の2事業がこれまでよりも重点化された。

28日 東上総教育事務所所長訪問が成東中学校で行われた。絶賛という言葉が適当かなという程のすばらしい内容であった。

同日、匝瑳高校の3年生で富口に住んでいる小椋愛機君が、弓道で国体に出場するという事で表敬訪問があった。当日は市長が不在ということで、私と副市長で対応した。小椋君はこの後開かれた国体で3位に入賞した。10月22日に改めて報告に訪れることになっており、その際は市長が対応することになっている。

29日 小学校運動会（成東小、鳴浜小、緑海小、大平小、山武西小、睦岡小）が行われた。それぞれ特徴があったと思う。

30日 パ克蘭ガ中学校歓迎会が行われた。随行者が4名来られたが、その先生方に茶道、陶芸、酒造（酒蔵）の体験をしていただいた。小野崎委員に特別のご配慮をいただいた。

同日、弓道部の遠的大会が行われた。

10月 1日 パ克蘭ガ中学校の生徒の授業体験が行われたが、子どもたちが授業を行った蓮沼中・成東東中・松尾中それぞれの学校が、これまで以上に事業への理解をいただいて協力が進んだと感じている。

2日 松尾小の指導室訪問が行われた。私の感想では、運動会の時もそうだったが他の学校に比べて少し活気に欠けるかなというものを感じた。

3日 日向小の所長訪問が行われた。これまで見てきた、感じてきたところから比べると大幅な向上があり、実際に所長からも高い評価をいただいた。

4日 市社会教育委員会議が行われた。これまでになく活発な意見があり、大変充実した会議であった。各委員の意識が高まったのではと感じた。

同日、第1回就学指導委員会議が行われた。介助員をつけて欲しいという要望が各学校から沢山出されているが、今後の財政上のことを考えると、十分に答えられなくなる可能性が大きいと心配している。

5日 鳴浜小の指導室訪問が行われた。これも運動会と同様に今一つ整然としたもの

を感じられなかったことを残念に思っている。

6日 むつみのおか幼稚園の運動会が行われた。京相委員・嘉瀬委員も出席されたが、元気があってたくましさも感じられ、大変良かったと思っている。

7日 市民体育祭が行われた。各委員においてもいろいろ意見や感想があると思う。是非、今後の改善に向けて忌憚のない意見等いただきたいと考えている。

9日 市校長会議が行われた。

10日 蓮沼スポーツプラザで市内小学校の球技大会が行われ、私はミニバスの方に出たが、学校間でかなり差があるなという思いを抱いた。学校の姿勢、顧問の姿勢等々が反映していると思う。その中であって大平小が大変善戦をしていると思った。聞くところによると平成23年度に高校を卒業した若い事務員が、匝瑳高校のOBでバスケットの選手だったそうで、遠くから通勤しているが朝練にまで参加をして指導してくれているとのことだった。ということで、一般教諭でなくても事務員でも用務員でも、学校の力になる人とならない人がいるなというところを感じたところである。

11日 本日、資料を配布させていただいたが教職員組合との交渉が行われた。私からは、できるだけ現場の支援はしていきたい信頼関係の下にやっていきたい。ただ、何もかも要望するのではなく、精査と各学校間の調整をお願いした。

12日 東金文化会館で山武地方の社会教育振興大会が行われた。初めてパネルディスカッション形式で行われた。

13日 5園の幼稚園・こども園の運動会が行われた。それぞれ特徴があったが私の感想では、我が子、孫にだけ夢中になっているのはいかがかかと特に感じた。

15日 南郷小の指導室訪問が行われた。校長の担任の決め方はいろいろ難しく影響が出るなと感じた。鉛筆の持ち方は他の学校から比べると、校長、教頭が書道に精通という力があるので大変良かったと思う。

同日、教育部内で組織の改編協議を行った。これについては生涯学習課の中に文化財担当を独立して位置づけることが良いのではないか。生涯学習係を公民館的な所に移して、生涯学習センター機能をアップすることが望ましいのではないかというような課長、係長の考えが示された。この課題はもう少し内部で検討した後、近いうちに社会教育委員会、そして教育委員会においても協議をいただく必要があるものと考えているのでご承知おきいただきたい。

16日 園長会議が行われた。平成25年度の3歳児保育の開始、園児募集、当初予算、研修そして学校評価等について話し合いを行った。

17日 地教連理事会において、今年度の教育功労者の選考審議が行われた。山武市は郡内全27名の内、6名の候補が全員承認された。この表彰制度についてのあり方については検討する余地があるだろうということで、今後協議することになった。

また、11月1日行われる教育委員・教育長等研修会、その後に教育長協議会主導による教育長・教育委員合同研修についての話し合いが行われた。

18日 本日、市教委の学校訪問を行った。

19日 習志野大久保小学校において国語の公開研が行われる。（事務局3名）

23日 文化財審議会委員会議が予定されている。

26, 27日 文教厚生常任委員会が行政視察ということで、東京都武蔵村山市に小中一貫校を視察する。

委員長：議案第1号「山武市学校のあり方検討委員会への諮問書(案)について」及び協議第1号「準要保護の認定について」から報告第1号「山武市学校のあり方検討委員会設置に係る進捗状況について」は、公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたい旨、提案。

（「異議なし」の声）

日程第4 ○議決事項

議案第1号 山武市学校のあり方検討委員会への諮問書(案)について

教育総務課長：山武市学校のあり方検討委員会への諮問内容について、資料に基づき諮問書(案)を説明。

※原案のとおり可決。

議案第2号 山武市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の制定について

学校教育課長：市のこども園化が進む中で山武地区の保護者のニーズを踏まえ、日向幼稚園に3歳児学級を開設すべきではないかという考えの下に、今回改正を提案するもの。（以下、資料に基づき改正内容を説明。）

改正概要：1学級の幼児数について「3歳20人以内」を追加し、入園資格を「満4歳」から「満3歳」に改める。

※原案のとおり可決。

議案第3号 平成25年度山武市立幼稚園及びこども園(短児部)の園児募集について

学校教育課長：平成25年4月1日から入園を希望する方へ募集を公示するもの。（以下、資料に基づき園児募集内容を説明。）

募集概要：入園資格は、市内に住所を有する3歳児から5歳児。幼稚園は日向幼稚園(3歳児・4歳児・5歳児)、むつみのおか幼稚園(4歳児、5歳児)の2園。こども園(短児

部)は、なんごうこども園(4歳児、5歳児)、(仮称)なるとうこども園(3歳児・4歳児・5歳児)、(仮称)しらはたこども園(3歳児・4歳児・5歳児)、まつおこども園(4歳児、5歳児)、おおひらこども園(3歳児・4歳児・5歳児)の5園。募集案内の配布は11月1日。受付期間は11月12日から11月30日まで。受付場所については、各幼稚園及びこども園、学校教育課でも受け付ける。

京相委員：先日、日向幼稚園の運動会に出席したが、すごく子どもの数が少なくて何か盛り上がり欠ける時があったが、3歳児から入ってくると多少にぎやかになるだろうし、継続して入ってくるので、入園を希望する方が増えると期待している。むつみのおか幼稚園は3歳児の受け入れがないので、日向幼稚園の場合どれくらいの入園希望数を見込んでいるのか。また、バスの通園についてどの程度検討しているのか。

学校教育課長：日向小学校区、山武西小学校区でアンケートをとったところ18名の希望があった。睦岡小学校区、山武北小学校区では10名の希望があったことから、募集を開始すれば睦岡小学校区、山武北小学校区の保護者の方も申し込みがあるのではと考えている。また、バスについては現在2台で運行している。それをうまく活用できないかと考えているが、どこにお住まいの方が応募するか未定なので応募の結果を見て検討したい。

五木田委員長：「蓮沼幼稚園は休園中につき募集はありません。」とあるが、これは希望がないということですか。

学校教育課長：希望は調査をしていないので不明だが、おおひらこども園に1名、まつおこども園に1名、その他ほとんどの家庭が私立保育所に通っている。

※原案のとおり可決。

日程第5 ○協議事項

協議第1号 準要保護の認定について

学校教育課長：1世帯1人について判定の結果、非該当である旨説明。

※原案のとおり非該当を承認。

協議第2号 山武市奨学資金貸付に係る法令等の改正内容について

教育総務課長：条例及び規則の改正については、次回の教育委員会定例会で議案として提出させていただきたいと考えている。また、条例については協議が整いしだい市議会第4回定例会に上程したいと考えている。(以下、資料に基づき条例及び

規則の改正(案)並びに募集要項(案)を説明。)

※原案のとおり了承。

協議第3号 山武市教育行政が抱える諸問題について

学校教育課指導室長：提案問題の①「いじめ対策について」資料に基づき本市の取組みを説明。

休憩 15時03分から

15時10分まで

学校教育課指導室長：提案問題の②「山武市幼児教育のあり方の基本的な理念と目標について」資料に基づき説明。

学校教育課長：提案問題の③「区域外就学について」資料に基づき現状を説明。

※本協議は継続審議。

日程第6 ○報告事項

報告第1号 山武市学校のあり方検討委員会設置に係る進捗状況について

教育総務課長：資料に基づき委員の選出状況等を報告。

報告第2号 幼保一体化に伴う組織体制等の進捗状況について

教育総務課長：本日、総務部長、保健福祉部長、教育部長、関係各課長等が集まり、幼保一体化に伴う窓口、いわゆる(仮称)こども課についての会議を行った。まだ正式ではないが、方向性について報告する。保健福祉部の子育て支援課でこども園を担当しているが、その名前がどうなるかは別にしても、子育て支援課の中に仮称ではあるが、こども園・幼稚園室のようなものを設置する方向で動いている。そこで保護者からの相談、手続きが一つの窓口でできるようにする予定で進められている。その内容については、幼稚園部門を保健福祉部に移すとのことである。しかしながら、指導部分については教育委員会で引続き行っていくことで、どうやったらシステムができるかについては、検討しているところである。先月の定例教育委員会において確認され幼保関係の組織体制は、一本化する方向で進んでいるが、今回の報告は市の方針であるこども園化について山武地区には幼稚園(2園)が残るため、山武地区のこども園化の方向性について市議会議員(山武地区選出議員)から意見をいただいたのでその概要を報告する。

9月26日に山武地区幼稚園・保育園のあり方について事前説明会をあららぎ館で行った。来年4月、新たになるとう・しらはたこども園が開園することで市の保育所は全てこども園となり、山武地区だけに公立幼稚園と私立保育園が残ることとなる。この状況をどのように解決するかが課題として残っており、今後、山武地区の幼保のあり方を検討していくためには、私立保育園経営者を始め地域関係者、保護者等への丁寧な現状説明を行ったうえで方向性について合意形成を進めていく必要があると考えられ、地域の方への説明に先立ち、地域の議員へ子育て支援課がこども園、学校教育課が幼稚園の現状と課題を説明し、今後の山武地区幼稚園・保育園のあり方の方向性について意見を伺った。

議員からは、日向幼稚園・保育園を一つに、むつみのおか幼稚園と若杉保育園を一緒にして、地区毎にこども園とする。一方は公、他方は民となる可能性もある。全国的には民の方向を向いているので、方向が決まれば民に移行すれば良いとの意見が出された。その他、こども園が公と民のこども園があれば、公が運営しているところに園児が集まり、民に影響が出るといった意見もあった。

質問としては、待機児童について10年先を見据えた場合、子どもが減って自然解消することはないのかとの質疑に対し、子育て支援課から共働きが必要な社会情勢があるため待機児童は減らないと回答したところである。

今後の方向性として、私立保育園経営者の意向確認をするとともに保護者へ詳しい情報を提供した上で丁寧なアンケートを併せて実施し、幼保あり方検討委員会の山武地区版の組織をつくり検討を進めていくことを確認した。

その後の経緯として、10月3日に日向幼稚園で3歳児を受け入れることについて、私立保育園の経営者へ説明に行った際に、併せて市議会議員と話し合った内容を仮の話として話したところ、基本的に幼児教育の充実を図るために待機児童を減らすことやこども園化することについては理解を示していただいたところである。今後は、再度確認の意味で子育て支援課、学校教育課、教育総務課で私立保育園経営者の意向確認に行く予定である。

報告第3号 第3回山武市学校音楽発表会について

学校教育課指導室長：10月31日午前8時30分に開会式を予定し、会場はさんぶの森中央体育館。市内小中学校の14校が発表を行う。プログラムでは18番までであるが、松尾小学校が金管と合唱、山武南中学校が吹奏楽と合唱を行う。

報告第4号 平成24年度全国学力学習状況調査の結果について

学校教育課指導室長：この調査については小学校でサンプリング数167名の児童、中学校では120名の生徒に対して行われた。(以下、資料に基づき調査結果を報告。)

報告第5号 第6回山武市民体育祭について

スポーツ振興課長：10月7日に開催した市民体育祭の結果を報告する。優勝は大平支部（4連覇）、準優勝は蓮沼支部、3位が成東支部となった。昨年と比べ順位が上がったのが日向支部（10位から4位）、緑海支部はこれまで12位、13位という成績だったが今回健闘した。雨天により競技場の状態が良くなかったので怪我を心配した。7人の方が擦過傷や捻挫で保健師の治療を受けたが、大きな怪我はなく無事終了した。

京相委員：主催者側に教育委員が入った訳だが、来賓として委員長の紹介があった。来賓ではない。主催者側として教育委員会の出番(挨拶など)があってもいいと感じたので検討願いたい。

スポーツ振興課長：主催は市、主管は体育協会並びに教育委員会であるので、教育委員長の挨拶が必要であれば、今後体育協会と協議していく。

報告第6号 第7回さんむロードレース大会について

スポーツ振興課長：10日に締め切りした申込者数がほぼ確定したので報告する。合計で2,491名の申し込みがあり、昨年の2,364名から5.4%増加している。市内の方の参加状況は、中学生が181名(昨年は155名)、小学生が182名(昨年は158名)、親子も含めると74名の増(22.3%)という結果である。

報告第7号 行事の共催・後援の承認について

教育総務課長：平成24年9月1日から9月30日までに承認した5件の後援について報告。

報告第8号 11月の行事予定について

教育総務課長：教育総務課の11月の行事予定について報告。

学校教育課長：学校教育課の11月の行事予定について報告。

生涯学習課長：生涯学習課の11月の行事予定について報告。

スポーツ振興課長：スポーツ振興課の11月の行事予定について報告。

その他

生涯学習課長：ニュージーランド研修生受入事業及び植樹祭について資料に基づき報告。

学校教育課長：山武市教職員組合要望書の回答について資料に基づき報告。

学校教育課指導室長：山武市教育委員会ジャーナルについて資料に基づき報告。

高橋委員：公立ではないが、市内の子どもたちが通っている蓮沼保育園の津波避難対策はどうなっているか。

学校教育課長：蓮沼中学校が一番近い3階建て以上の建物になるので、避難訓練でも蓮沼中学校へ誘導している。

教育総務課長：蓮沼中学校には外階段が設置されるのでフェンスに扉を設置した。いずれは、グラウンドから屋上に行けるようになる。

7. 閉会 午後4時27分